

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

三重県

行事名称	高田本山専修寺消防訓練
実施期間・日時	令和8年1月22日(木) 10時30分から11時30分まで
実施場所	真宗高田派本山専修寺境内及び御影堂(三重県津市一身田町2819)
主催者	真宗高田派本山専修寺(協力:津市消防本部、津市教育委員会)

■実施内容

訓練の想定

震度6強の大地震により、御影堂内で燈明が転倒し出火。御影堂内及び如来堂へ延焼拡大の恐れがある。119番通報、初期消火と重要文化財の搬送が急迫している。

訓練の内容

通報訓練、重要物品搬送、初期消火訓練、火災防御訓練

参加者及び役割分担

真宗高田派本山専修寺自衛消防隊(40人): 火災通報及び重要物品搬出
屋外消火栓・屋内消火栓での初期消火、放水銃での延焼防止
一身田自主防災協議会(15人): 延焼防止等の火災防御(消火器等での初期消火)
津市消防団津方面団(26人): 延焼防止等の火災防御(屋内外消火栓からの放水)
津市消防本部・消防署(27人): 延焼防止等の火災防御(はしご車等からの放水)
津市教育委員会(2人): 防災訓練実施広報、連絡調整

特に工夫した点

訓練の想定に火災だけでなく地震の発生を加え、複合的な災害に備えている点。また、文化財所有者だけでなく、地域の消防団や教育委員会、消防本部が参加し連携することで、文化財に関わる各団体における防災意識をより高めている点。

問題点・課題

特になし。

その他

今後も防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図りたい。

訓練風景

